

山形県

- ①パーゴラ
- ②椅子、展示棚

【概要・アピールポイント】

- ①子どもたちに木材と触れ合える機会を作り、オリンピックで使用した木材という事で木材への興味を一層引き出すもの。
- ②施設利用者に対しレガシーのPR、木材利用に対する理解促進を図る。

■ 資材提供のきっかけ

県産木材の提供とレガシーとしての利用を通じ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や持続的な木材利用についてのPRを行うため事業を実施することとなった。

■ 提供した木材の概要

- ・スギ

■ 用途

- ①パーゴラ 2基
- ②椅子5脚、展示棚



■ 用途決定までのプロセス

オリンピックで使用した木材という事で木材への興味を一層引き出し、多くの市民の方々が木材と触れ合える機会を創出できるよう用途を決定した。

■ 完成/使用開始時期

- ①2022年4月 ②2022年11月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①東根市立ひがしねこども園、東根市西部防災センター

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ①ZEB認証を受けた施設と、オリンピック木材の利活用により、ゼロカーボンシティを表明している本市の環境保護への取り組みを市民に周知するとともに、次世代を担う子どもたちが自然環境への興味をもつきっかけとなった。
- ②市民と連携して椅子等を制作することで持続可能な社会の実現に向けた意識の醸成を図ることができた。

問合せ先

森林ノミクス推進課
電話：023-630-2528

山形県

- ③スツール、ベンチ、子供用机、子供用椅子
- ④積み木
- ⑤施設内の木質化の資材

【概要・アピールポイント】

施設利用者に対しレガシーのPR、木材利用に対する理解促進を図る



■ 資材提供のきっかけ

県産木材の提供とレガシーとしての利用を通じ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や持続的な木材利用についてのPRを行うため事業を実施することとなった。

■ 提供した木材の概要

・スギ

■ 用途

- ③スツール、ベンチ、子供用机、子供用椅子を作製、施設内で利用
- ④積み木を作成し、施設内で展示
- ⑤施設内の木質化の資材として利用

■ 用途決定までのプロセス

木材利用拡大に向けた取り組みを進める中で、レガシー木材を利用することによるPRの騒擾効果を期待し、多くの施設利用者の方々が触れることができるよう検討を行った。

■ 完成/使用開始時期

③、④2022年10月 ⑤2022年12月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

③山形県県民の森 ④山形県源流の森 ⑤山形県眺海の森

■ 完成まで・完成後のエピソード

③スツールに加工し、令和4年10月9日開催の山形県県民の森来場者600万人達成記念イベント「秋まつり」にて、大抽選会を開催し、来場者に贈呈したところ喜ばれた。また、スツールは県民の森森林学習展示館でも展示している。

また、山形県立村山産業高校農業環境課3年生に依頼し、地域貢献活動の一環としてベンチ1脚、子供用机1台、子ども用椅子1脚を製作して頂いた。

成果物は、県民の森森林学習展示館の木育拠点施設で利用すると共に、製作過程についても、今後パネルを設置し紹介する。

④秋のイベントの一環で、積み木大会を実施した。オリンピックで使われた木材ということでお客さんの関心も高く、子どもたちや親子連れがとても楽しそうに参加していた。

⑤東京2020大会で使用した材と分かるように、なるべく加工を少なくしたが、違和感の少ないデザインとするのに苦労した。完成後は説明用のボードも設置することにより、レガシーを伝えていく。

問合せ先

森林ノミクス推進課

電話：023-630-2528